

令和7年度 岩手県立遠野緑峰高等学校経営計画

校長：三浦 幸哉

1 校訓・教育目標		校是「拓心」 校訓「自立・創造・躍進」 教育目標 ア 未来を切り拓く感性と創造性豊かな人間を育てる イ 農業・商業を中心に幅広い産業に対応した実践力を育てる ウ 郷土・地域社会に貢献する積極的な態度と実践力を育てる	
2 ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)	【生産技術科】 ・農業・家庭の学習を通して、自ら課題を見つけ解決できる能力と実践力の育成 【情報処理科】 ・商業の基礎的・基本的知識の習得を通じて、経済のグローバル化、ICTの進歩に対応する力を育成	
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	【生産技術科】 ・農家研修等により、地域農業への理解を促進し、就農に対する学びを深めます。 ・地域の農業資源を活用した特色あるプロジェクト学習に取り組みます。 【情報処理科】 ・地域の事業者の協力をいただき、生産技術科が生産した農産物の販売実習と商品開発等により商品流通に取り組みます。 ・地域ショッピングセンターの協力をいただき、販売実習に取り組みます。 ・将来の進路を見通した、職業資格取得に取り組みます。	
	(3) 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	本校の特色を理解して、積極的に高校生活を送る生徒を求めます。 ・礼儀正しく、明るく、心のこもった挨拶が出来る生徒 ・郷土・地域を愛し、地域社会に貢献しようとする生徒 ・何事にも失敗を恐れず目標に向かって挑戦する生徒 ・農業・家庭・商業に係わる知識や実践力を身につけたい生徒	
3 魅力化協働パートナー		遠野市 市内保育園・小学校・中学校・高等学校 大学・専門学校 ふるさと商社 地元企業・商工会・農業関係団体 地元自治会	
4 目 指 す 学 校 像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	
		達成指標	
		ア 基本的生活習慣の確立と規範意識を持って行動できる生徒の育成	・「基本的生活習慣に気をつけている」と答えた生徒の割合【80%以上】
		イ いじめ対策委員会の取組みを中核としたいじめの防止	・いじめアンケートの実施【年5回以上】
		ウ わかる授業・魅力ある授業の実践と個に応じた指導	・「授業がわかりやすい」と答えた生徒の割合【80%以上】
		エ 主体的に学ぶ態度の育成と専門研究活動の充実	・校外の大会やコンクール等への参加や応募件数【10件以上】
		オ 進路目標の達成	・就職や進学等の進路希望達成【100%】
	(2) 取組方針	カ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制の組織的構築	・「相談にのってくれる、適切な対応をしてくれる」と答えた生徒の割合【80%以上】
		ア 基本的生活習慣の確立と規範意識を持って行動できる生徒の育成 (ア) 規範意識を醸成する(挨拶、整容、時間管理、情報モラル、交通安全等)。 (イ) 奉仕的精神を涵養する(清掃、ボランティア活動等)。	
		イ いじめ対策委員会の取組みを中核とするいじめの防止 (ア) 生徒が安心できる「居場所づくり」を推進する。 (イ) アンケートや面談等による早期発見と情報共有を図り組織的に対応する。 (ウ) 各種講話や講演会等により人間力を育成する。	
		ウ わかる授業・魅力ある授業の実践と個に応じた指導 (ア) 主体的・対話的な授業の工夫と実践をする。 (イ) 年2回の授業研究会と全教員の授業公開を実施する。 (ウ) 家庭学習時間調査を実施し、調査結果に基づいた学習課題の計画的な指示と家庭学習習慣の定着を図る。 (エ) 特別支援教育の充実を図る(個に応じた支援の充実)。	
		エ 主体的に学ぶ態度の育成と専門研究活動の充実 (ア) 生産技術科のプロジェクト等専門研究活動のさらなる推進と充実を図る。 (イ) 情報処理科の新たな専門研究活動を推進する。 (ウ) 校内課題研究発表会の充実を図る。	
		オ 進路目標の達成 (ア) 3年間を見通した指導計画の策定と分掌間の連携による組織的な指導を行う。 (イ) 進路講話・ガイダンス等による総合生活力と人生設計力を育成する。 (ウ) 地域と連携した事業所見学会・企業訪問・インターンシップ等を実施する。	
カ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制の組織的構築 (ア) 全教職員が子どもの権利条約等について理解を深め、生徒の人権を尊重した指導を行う。			